

## 第33回通常総会報告

- (1) 3/3 (木) 13:00~17:00、Remoを使用して開催されました。事前の申し込み状況としては、代議員定数173名のうち出席100名、欠席・委任参加73名、出席者262名となりました。
- (2) 國見淑香消費者幹事(パルシステム埼玉)の進行により開会し、冒頭で大津清次代表幹事より挨拶し、その後、来賓挨拶として大信政一理事長(連合会)、安田昌樹会長(協力会)から祝辞をいただきました。
- (3) 議長として鶴田洋平果樹部会長(株式会社マルタ)が選任され、各議案審議が進められました。議案については、第1号議案「2021年度活動報告並びに決算報告・監査報告承認の件」、第2号議案「2022年度活動方針並びに予算案承認の件」について提案し、可決承認されました。
- (4) 総会後のフォーラムとして、2022年度方針を深めるための講演をいただきました。渋澤温之専務理事(連合会)からは「「ともにくらしともに生きる」地域づくり」と題し講演がありました。コロナ禍での受注状況やパルシステムの商品政策や方針について改めて説明し、震災や災害からの復旧・復興への関り、2030ビジョンでめざすことなどについても話されました。竹内周常務取締役(井ゲタ竹内)からは「生産者・メーカー・生協の協創(きょうそう)で地域を変える」と題し、恩納村漁協と井ゲタ竹内との関係構築から里海づくり、恩納村や全国の生協との関わり合いによる地域づくりなどについて話されました。最後に、大津清次代表幹事よりまとめの報告として、「お二人の話を聞いて、パルシステム産直で社会を変え、地域づくりに貢献することができる可能性を感じた。「協創」という言葉をキーワードに2030年に向けた、未来を作るために活動を進めていきたい」と話されました。また、最後に事務局交代の挨拶がありました。
- (5) 休憩を挟んだ後、交流会が開催され、参加者は3フロアに分かれ各テーブルで交流を深めていました。



以上